

浜坂で異文化ワークショップ 在住外国人の悩み理解を



演劇を通じて在住外国人の思いについて理解を深める参加者＝18日、新温泉町浜坂の文化会館

新温泉町浜坂の文化会館で18日、異文化について理解を深めるワークショップがあった。外国人労働者を雇用する町内の企業経営者や高校生ら17人が参加し、演劇を通して日本で生活し

ている外国人が抱えている悩みなどについて学んだ。ワークショップは、技能実習生や外国語指導助手（ALT）を対象に日本語教室を開いているボランティアグループ「にほんご広

場ハピタン」（西村美幸代表）が、在住外国人への理解を深めてもらうとうと企画。県立芸術文化観光専門職大（豊岡市山王町）の専任講師で、演劇的手法を使った語学教育を行っている姚瑤さん（中国出身）が講師を務めた。

参加者は四つのグループに分かれ、日本の学校に転校してきたブラジル人の小学生が実際に体験した、日本語の意味をつまぐ理解できない、舌打ちの意味が異なる、ハグなど文化の違いによって誤解が生じたなどのケースを演劇で再現。解決方法も考え、演劇を通じて参加者に提案した。

参加した浜坂高1年の田中荘明さん（16）は「最初は恥ずかしさもあったが、演劇を通じて在住外国人の気持ちに気づくことができた。文化の違いについてさらに理解を深めたい」と語った。（前田一樹）